



JWTC NEWSLETTER

Vol.28 No.2 August 2008

JWTC 2008年度 第1回勉強会

人と自然とちよつと冒険



2008年5月30日(金) 東京ウィメンズプラザにおいて 講師:小倉 董子(おくら・のぶこ)氏



JWTCの本年度のテーマ「地球にやさしく、自分にやさしく」にふさわしい講演が、第1回の勉強会として開催されました。

講師の小倉さんは早稲田大学山岳部の初めての女性リーダーで、「女性のための山歩き教室」を開講され、中高年の登山者のリーダー的存在です。山に興味を持たれたのは早稲田大学の山岳部に所属されていたお父様の影響とか。

失礼ながら、御年は70歳を過ぎておられるとのこと(とてもそんなお年には見えません)。小柄ながらバイタリテイあふれる闊達なお人柄とお見受けしました。

お話は生い立ちから、初めてのアフリカ遠征参加、キリマンジャロ登頂。女性だけのニュージーランド遠征、欧州、ネパールなど世界の国々に遠征されたこと、出版社勤務のかたわらの結婚生活、子育てなど多岐にわたり、山登りに年齢は無いとも言いつつも、シニアならではの山の楽しみ方を紹介されました。

「予定は未定、臨機応変」「何でも順応すれば夢はかなえられる」「日本のマナーは世界に通じる」など小倉さんのモットーは心に刻まれました。

好奇心旺盛であること、ご自分の目標に向かって自然体で立ち向かっていかれる姿勢には大いに刺激を受けました。

エコツアーについては、旅行業界に身を置く私たちに「身近な環境破壊に気付くはずで、それをツアー客に伝えることがエコツアーの最初の一步だ」と言及されました。

また、「いろいろな人と巡り会えるのは旅行業の特権で、それを自分自身の財産にして欲しい」ともお話されました。ユーモアのある、そして一本筋の通った生き方に魅了されてしまいました。

講演終了後は、場所を変えて懇親会。

あいにく冷たい雨がそぼ降るオープンテラスのテーブルではありましたが、ワイングラス片手においしいイタリアンで大いに盛り上がった夜でした。 会員部 斉藤 久美子

◆参加された皆様のご感想◆

- 山登りの話もとてもおもしろかったです、人生のお話もとても楽しく聞かせていただきました。 橋本 かおり
- 山登りばかりでなく、働く女性、活動する女性にエールを送るようなお話に勇気付けられました。 伊藤 聡子
- 山登りを通して女性としての生き方につながるようなお話で良かったと思います。また、時代ごとによって変わっていく社会の状況や人の考え方の進歩など、興味深かったです。夢をかなえるのに年齢は関係ないとの力強いアドバイスはこれからの励みになりました。 伊崎 留為子
- 初めて参加をさせていただき、大変楽しいお話を聞かせてもらうことができ、ありがとうございました。(ビジター)
- 地元が福島県のため、大変親近感をもってお話を聞いておりました。まだまだお元気で活躍なさっている姿に勇気をいただきました。(ビジター)

JWTC ホームページご覧になりましたか？

昨年12月よりホームページを開設しております。

コンテンツとしては、会の活動内容(各部会、勉強会、歴代会長、役員紹介、規約)やマスコミに発信したプレスリリース、そしてマスコミに掲載された内容のお知らせなどです。

部会に参加されていない方でも「JWTCの様子がわかる！」ものとなっています。近々に、希望会員会社のホームページをリンクする予定です。ぜひご覧ください。

<http://www.jp-jwtc.org/index.html>

ご意見、お問い合わせは 広報部 坂本 (y_sakamoto131@jtb.jp) まで



蓼科で旬の高原野菜を 味わい尽くすツアー

もいだばかりの
野菜



6月21日。雨を心配しながら名古屋駅をスタートしましたが、薄日の差す茅野駅に到着。ここで東京の方々と合流し、気分も新たに最初の目的地、今井農園へ。

途中、「エスポワール」の藤木シェフに同乗していただき、新緑の山々や田植えが終わったばかりの田を眺めているうちに到着しました。土や草のにおい、山から流れてくる湧き水の音に日常を忘れて草の上に寝転びたくなりました。

脱サラから野菜作りに専念されて17年の今井さんの畑は標高800mの所にあります。「百姓は百種類の作物を作る」

の信念で、藤木シェフの要望にも応えて、市場ではなかなか手に入らない新鮮野菜を作り、今では多くのレストランからも注文が殺到しているそうです。

馴染み深い野菜から、初めて見るプンタレラや赤と白のコールラビーまで、みずみずしい色艶に感動しきり。収穫したばかりの野菜を湧き水で洗い、そのままポリポリ。この後の昼食のことも忘れ、手が止まりませんでした。



今井さん(左)と高木シェフ

今井ご家族に見送られ、さらに山間を抜けて標高1300mの「エスポワール」へ。開業から10年を迎えたオーベルジュ「エスポワール」は深い木々に覆われ、庭にはかわいらしい花が咲いていました。パンを焼く石釜と燻製小屋を持ち、レストランの2階には客室が4部屋あります。

今回のメニューは、私たちのための高原野菜がメインのコースと、食事に合わせたワインにソフトドリンク。藤木シェフのお話を伺いながら、思いがこもった食事をいただきました。野菜はそれぞれの味を残しながら、熱が加わることに甘味が増し、また、他の食材が加わることによって味が膨らみます。色鮮やかな一皿一皿を写真に記録しようと思っていたのですが、いつのまにか食べてしまい失敗！

満腹感とほどよい気分になりながら最後の「バラクライングリッシュガーデン」へ。ここは20年前に日本でも本格的な英国式園芸とガーデニングを始められた「ケイ・山田」の植物コレクションです。バラが終わりの時期を迎えて少し寂しかったですが、雨でいっそう色鮮やかな新緑に何種類もの花々が可憐に咲いていました。

この度の親睦会は、本当に有意義な企画ツアーで、ご担当の方々の骨折りに深く感謝し、参加できなかった名古屋のメンバーにも、意義ある活動を伝えたいと思います。

名古屋支部 岩井良子 鈴木恒子 草次昌子

◆参加された皆様のご感想◆

- 個人で出向いてはできない“+2”の体験(生産農家とのふれあいとシェフの同行)、とても良い企画でした。 高林しおり
- 海外からの輸入食品に頼ることより、いろいろな意味で国産を見直す時期に来ていると思います。そして国産のキーワードは“地産地消”。 本多美知子
- 高原の畑で野菜を摘みながら、かつてこんな事をした時があったと子供時代を思い出しました。その時の野菜は生きるためのものですが、今日はなんとも余裕のあるリッチな食事へと変身していました。 福田 和子
- 名古屋支部から3名の方が参加され、お目にかかる機会が少ない方とお話しできたことも収穫でした。これからも東京・名古屋双方の交流できる機会を持ちたい。 田辺典子・他多数



有能な女性たちは 業界の財産！

坂本康子さんからバトンを受けてから、何をしようかと思案している間に、「締め切りは明日です」との連絡を受けてあわてて書いています。

原稿を頼まれるとその時は簡単に引き受けてしまうのですが、結局は気軽に引き受けるのではなかったと後悔しつつ、締め切り間際に何時も慌てふためいているというのが実情です。何事も計画的に事前準備をしてと毎回自分に言い聞かせ、頭の中ではああしよう、こうしようと考えていながら、実際にはなかなかまとま

らず、最後に切羽詰って一気呵成に仕上げたというのが長年の悪い癖となっていました。編集担当の方には大変ご迷惑を掛けてしまい、この場でお詫びいたします。

ところで、私は2004年からJATAの常任役員を仰せつかっています。JATAの常任役員に女性がいないので、その代表として引き受けてくれないかと依頼されたのが始まりです。JATA 役員のだどが大手旅行会社の社長達のため、弊社の

ような弱小企業のもので役立つか迷いましたが、旅行業界の現場を本当に支えている女性の代表が一人もいないのは由々しきことであると常日頃思っていたので、思い切って引き受け次第です。

この6月までは海外旅行委員会の副部長をしていましたが、7月からは研修・試験委員会の副部長をすることになりました。トラベル・カウンセラー制度の普及と、旅行業界人としての専門性を高める、トラベル・コーディネーター、デスクティネーション・スペシャリスト、またはテーマ・スペシャリストとしての資格取得のための研修や試験等について検討する委員会です。資格取得者の約70%は女性で、しかも日頃現場でお客様と対峙している女性達です。

＜第2回勉強会＞

「名古屋再発見」

日時 2008年6月14日(土) 10:15～16:00

日頃名古屋で旅行業の仕事に携わりながら、意外と知らない名古屋の観光地を知るために、第2回勉強会は「名古屋再発見」をテーマにしました。今年区制200年を迎える名古屋市東区の歴史の建物が多数残る白壁地区と、ここ数年開発が著しい名古屋駅前の「ミッドランドスクエア」を「なごや観光ルートバス・メーグル」を利用して見学しました。「なごや観光ルートバス・メーグル」



とはその名の通り名古屋の見所を巡る観光バスで、JR名古屋駅から名古屋市内の主要観光ポイントをぐるり一周して名古屋駅に戻ってきます。

「文化のみち」

「文化のみち」は、名古屋城から徳川園にかけての一角を、歴史的遺産の宝庫として名付けられた地域です。江戸期には中・下級武士の屋敷が連なり、明治から昭和の初めにかけては近代産業の

担い手となる起業家、宗教家、ジャーナリストなど様々な人が交流する舞台となった地域で、歴史的建物が多数残されています。

今回はその中の「文化のみち二葉館」と「旧豊田佐助邸」を見学しました。

「文化のみち二葉館」(名古屋市旧川上貞奴邸)

日本の女優第1号といわれる川上貞奴と電力王・福沢桃介(福沢諭吉の娘婿)が、大正9年頃名古屋市東区東二葉町に暮らした家で、約2000坪の敷地に建つ和洋折衷の建物は、当時は「二葉御殿」と呼ばれ、政財界人や文化人のサロンとなっていました。平成17年(愛知万博年)に現在の東区榑木町に移築復元されました。

「旧豊田佐助邸」

発明王豊田佐吉の弟で兄の事業を補佐した佐助が大正12年に建てた建物。洋館1階応接間の漆喰天井の四隅に鶴にトヨタの文字をデザインした換気口があり、佐助のこだわりがうかがえます。

ボランティアガイドの方から、資料だけでは分からない裏話や建物のお話を聞くことができ、非常に興味深く時間を忘れるほどでした。文化のみちとミッドランドスクエア、大正時代と現代のタイムスリップをぜひ皆様も名古屋でご体験ください。

名古屋支部 草次昌子

ミャンマーのサイクロン被害、中国・四川省の地震被害に義援金！

6月1日、戸井川裕美子会長が北京において、かねてから友好関係にある中国婦女旅游委員会の方々と面談し、日本旅行業女性の会を代表して四川省大地震の義援金をお渡ししました。

当日は日曜にもかかわらず、中国婦女旅游委員会副会長・李王鶯氏、同会・秘書長で中国人民政治協商会議全国委員会委員の葉礼艶氏、婦女旅行社総経理・鄭玉芳氏、日本部部长・胡楊氏が出席され、2時間ほど歓談しました。

ちょうどその日は中国の児童節(中国の子供の日)にも当たっており、戸井川会長は、親を亡くした多くの子供たちを何とか励ましたいとの思いを伝えました。

また、6月11日、戸井川会長と田辺副会長が日本旅行業協会(JATA)を訪れ、ミャンマーのサイクロン被害に対する義援金をお届けしました。

木島元会長のご尽力で、新町会長(当時)にお目にかかり、直接お渡しすることができました。また、新町会長、梅田理事長(当時)と懇談し、JWTCのアピールもいたしました。

なお、この訪問については『JATA NEWS-MAIL Vol.348』にも掲載されました。

最後に、両災害で亡くなられた多くの方々へ哀悼の意を表するとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



中国婦女旅游委員会の方々と



新町会長(当時)、梅田理事長(当時)と

私の役目はこのような有能な女性達を、単に一旅行会社の財産とするだけでなく、広く業界全体の財産としてもっと表に出て活躍してもらうように働きかけることだと思っています。

今、JATAの中には、海外旅行委員会、国内旅行委員会、社会貢献委員会、旅行業経営委員会、法制委員会、研修・試験委員会とありますが、どの委員会にも女性委員がいません。何とかして各委員会に最低1名の女性委員を入れるように働きかけています。

JATAの中だけでなく、旅行会社の経営者の集まる場所では必ず業界を支えている女性を活用することが、業界を活性化する一番の近道と言いつけています。そのためにもJWTCがもっと積極的に活

動することが大切になります。

先日の四川・ミャンマー災害義援金をJATA会長に届けたことは、JATA内でも大変に感謝され、またJWTCをアピールするのに大いに役立ちました。JWTC会員の中から一人でも多くのJATA役員が出るようになればと願っています。

硬い話となってしまいました

た。こちらで私のテニス仲間、鈴木光子さんにバトンタッチしたいと思います。

彼女とはもう10年以上同じテニス倶楽部で土曜日の午後テニスを楽しんでいます。彼女はバックハンドがお得意で、クロスにスライスボールでピシッと決め



プリンセス・クルーズ社のインターナショナルセールスマーケティングにおいて、各国代表と木島さん(右から2人目)

てきます。二人とも学生時代からテニスをし続けています。仕事を忘れて、思い切り汗を流して、昔ほどのスピードはなくなりましたが、無心にボールを追いかけています。

木島榮子 (株)クルーズバケーション

◆ 運営委員会だより ◆



平成20年4月、5月、6月の運営委員会では各部の報告が以下のように行われました。

□総務部□

- 各部担当の行事参加者への領収書について
- 四川、ミャンマーへの義援金について
- 年会費について 全会員からの振り込み確認済み

- 2008年会員ハンドブックの名簿確認作業中。7月半ばに発行予定

□広報部□

- 第1回勉強会の記事が航空新聞に掲載された
- ニュースレター等のHP掲載方法について
- HPのリンク、プレスリリースについて

□事業部□

- 第1回勉強会報告
『人と自然とちょっと冒険』小倉講師 ー5月30日実施

□その他□

- 名古屋支部と関係強化を図る
- 会員獲得について

□会員部□

- 親睦会 蓼科で旬の高原野菜を味わい尽くすツアー
6月21日実施

JWTC 会員のための研修旅行

リッツ・カールトンに泊る中国・広州／海南島の旅

今年に入り、さまざまなことが起こった中国ですが、かたや確実に成長を遂げているのも中国です。リッツ・カールトンの展開するホテル&リゾートはその成長に伴い、次々と中国に進出しており今年になってからも2軒ホテルをオープンさせました。1軒は南の玄関口、「食は広州に在り」の『広州』と、もう1軒は「南海の真珠」と言われる『海南島』です。

当会員でザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニーの伊崎さんの協力と中国のスペシャリスト、ピコツアー社長 戸井川さんのコーディネートでJWTC会員のための研修旅行を企画しました。

広州では食の都ならではのレストランを選び、世界遺産の開平まで足を伸ばします。また海南島ではのんびりとリゾート気分を満喫していただきます。

忙しい皆様のために、広州だけで帰るプランも用意しておりますので、詳細は同封パンフレットにてご確認ください。

Aコース 12月5日(金)～12月7日(日)

成田／広州／成田

Bコース 12月5日(金)～12月9日(火)

成田／広州／海南島／成田

◎お申し込み・問い合わせ先 ピコツアー 伊藤聡子

TEL : 03-5411-7218 FAX : 03-5411-6781 Email : ito@picotour.co.jp



ザ・リッツ・カールトン広州



ザ・リッツ・カールトン三亚(海南島)

★新入会員紹介★

会員No.413

市川 淳子

ケイライントラベル(株)
東京旅客部



このたびは入会させていただき、誠にありがとうございます。

主にテレビCMや撮影の海外ロケ渡航の手配しております。皆様のお持ちになる知識を吸収させていただけたら……と思っています。

今後とも何とぞよろしく願い申し上げます。

【お知らせ】

第2回勉強会－ホテル見学会－について

日時 2008年10月8日(水) 午後7時より(予定)

場所 ペニンシュランホテル 東京

参加費、集合場所など、詳細については後日ご連絡させていただきます。



猛暑到来!

今夏は北京オリンピック、洞爺湖サミット、燃油サーチャージ、食品偽装、ウナギのぼりに上がる物価等々、さまざまなニュースが良くも悪くも取り混ぜて枚挙のいとまがありません。その中でミャンマーと四川の災害にささかでもJWTCが貢献できてよかったと思います。

目まぐるしく変わる世界情勢の下、会員の皆様も各分野でお忙しいことと想います。でもこういう時こそお互いの交流と情報交換が必要な時では?

親睦会でいった蓼科の澄み切った空気と新鮮な野菜が懐かしく思い出されます。ご多忙中のところ記事や感想文など寄稿いただきましてありがとうございました。この会報が一服の清涼剤となりますように。(K.F.記)

